

Hirata

第66回 定時株主総会

平田機工株式会社

平田機工株式会社

第66期

事業報告

連結計算書類

計算書類

事業報告

平成28年4月1日～平成29年3月31日

**企業集団の現況
当事業年度の事業の状況**

事業の経過および成果

▶ 世界の経済情勢

米国・欧州

**個人消費がけん引する
緩やかな景気回復が持続**

**金融政策や財政政策の下
個人消費主導の緩やかな拡大**

世界の経済情勢

中国

小型車販売の減税措置の縮小により自動車販売の伸び悩み

不動産投資の拡大

インフラ関連投資が底堅く推移

▶ 海外経済

**米国、経済政策などの
不確実性の高まり
英国、EU離脱問題**

景気の先行きは不透明

国内経済

**円安基調への転換
輸出企業を中心に業績が改善**

**個人消費
雇用所得環境の改善により
緩やかな回復基調**

▶ 当社グループ

海外子会社との協力・連携

受注量の拡大

現地での調達・生産比率を高め
コスト競争力を強化

▶ 当社グループ

生産量の増大

生産リソースの最適配分
による負荷調整

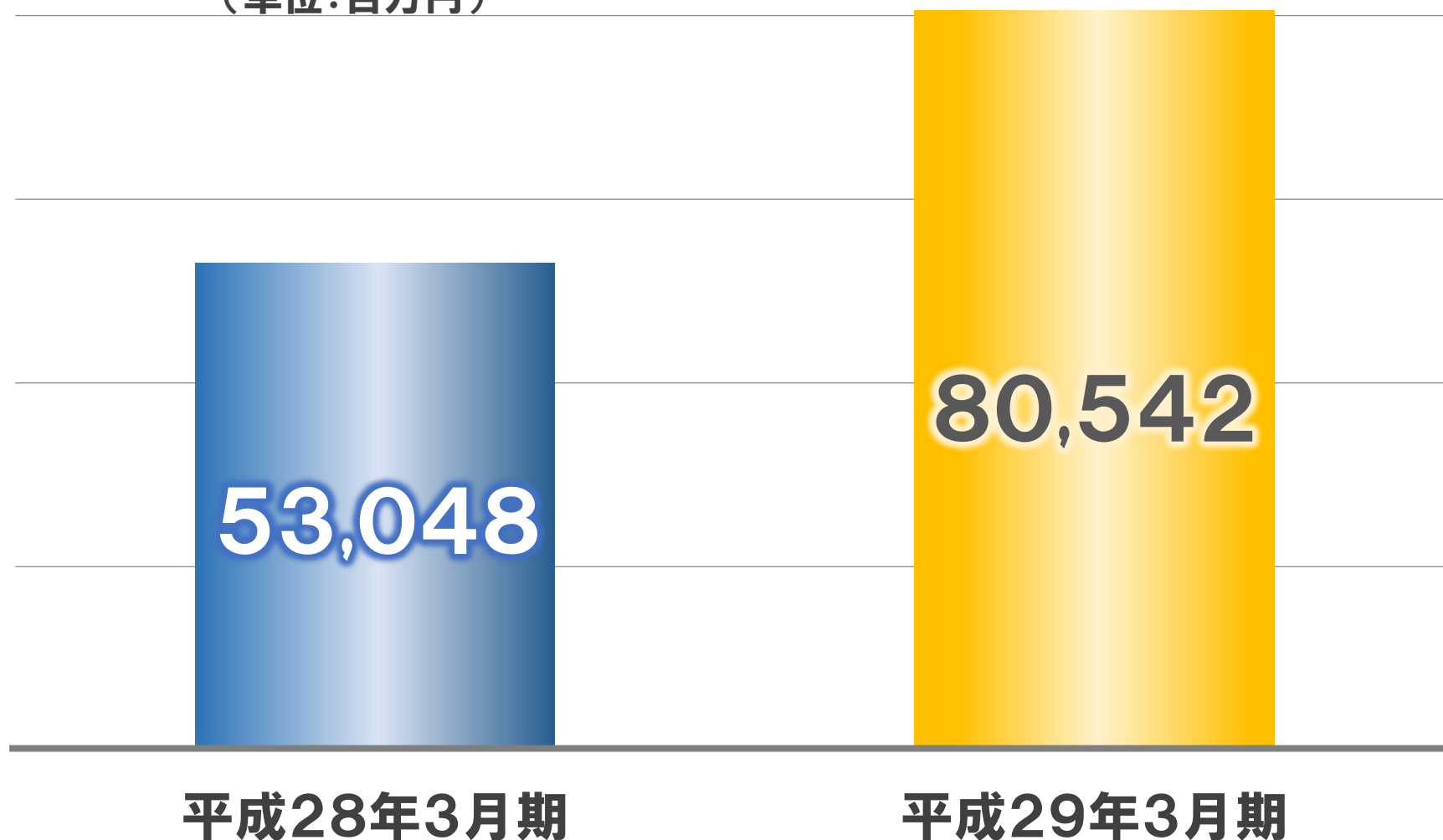
内製化率の拡大を推進

仕入体制の見直し
サプライチェーンの効率化

連結売上高

80,542百万円
前期比51.8%増

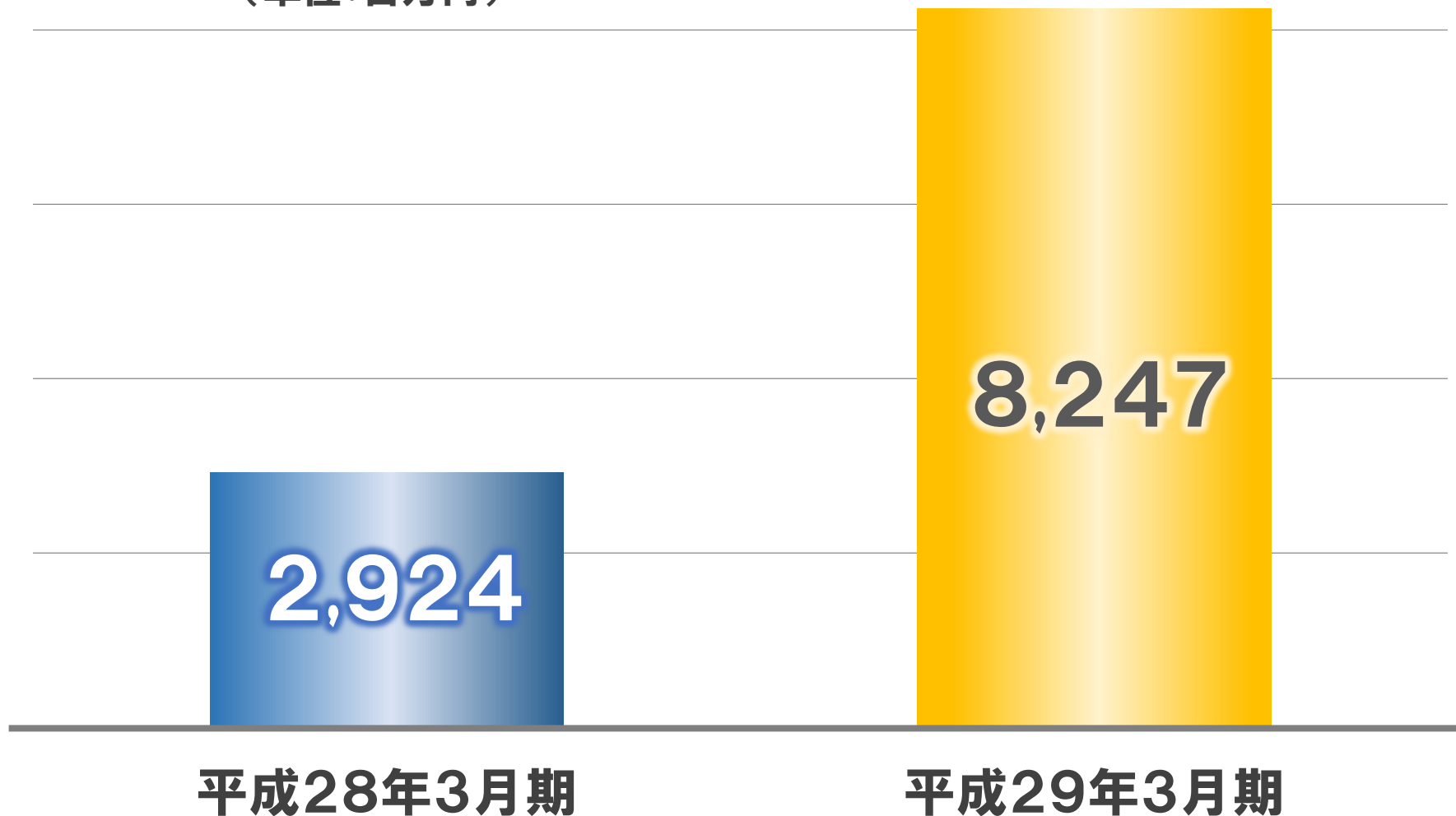
(単位:百万円)



連結営業利益

8,247百万円
前期比182.0%増

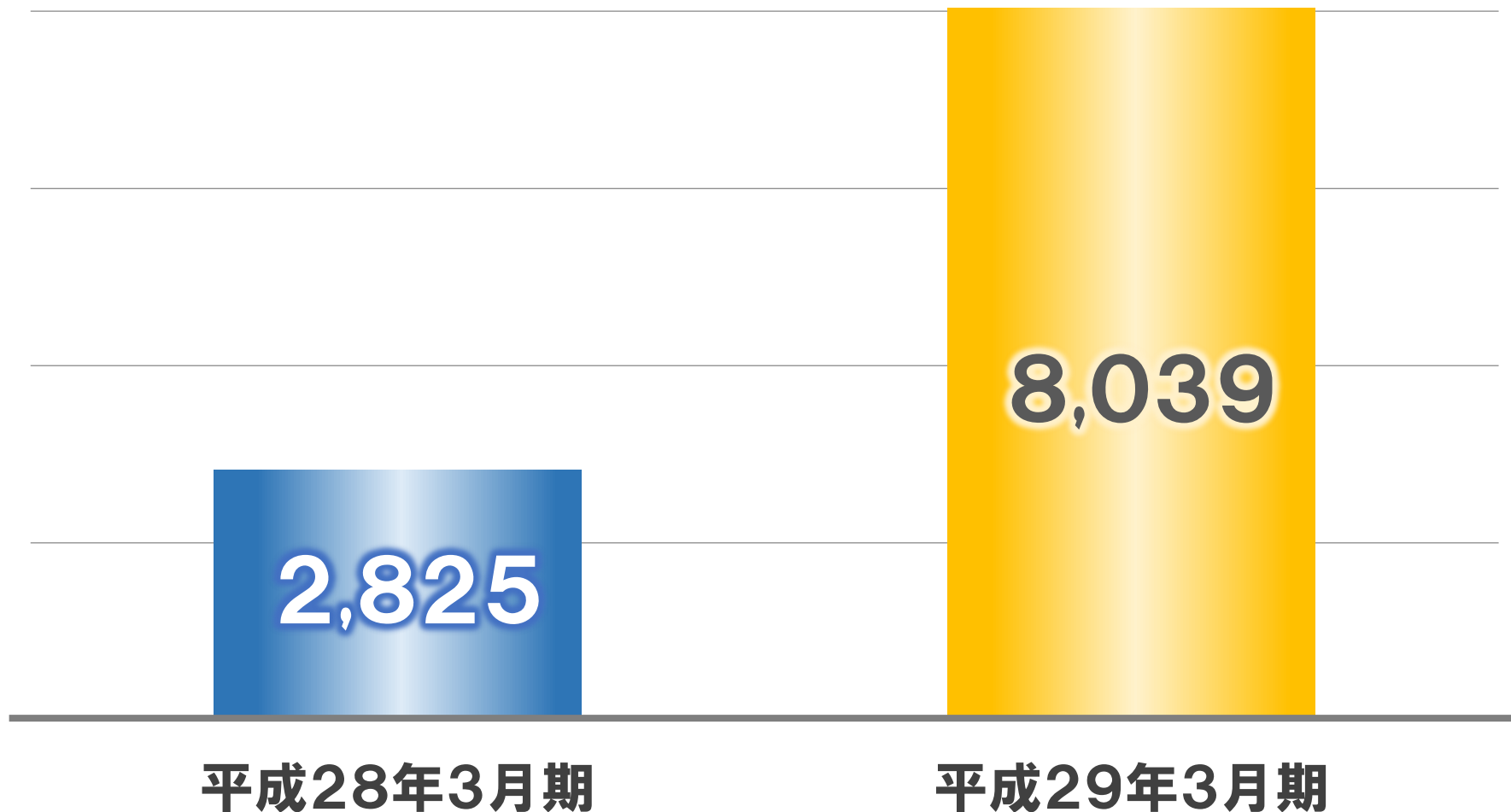
(単位:百万円)



連結経常利益

8,039百万円
前期比184.5%増

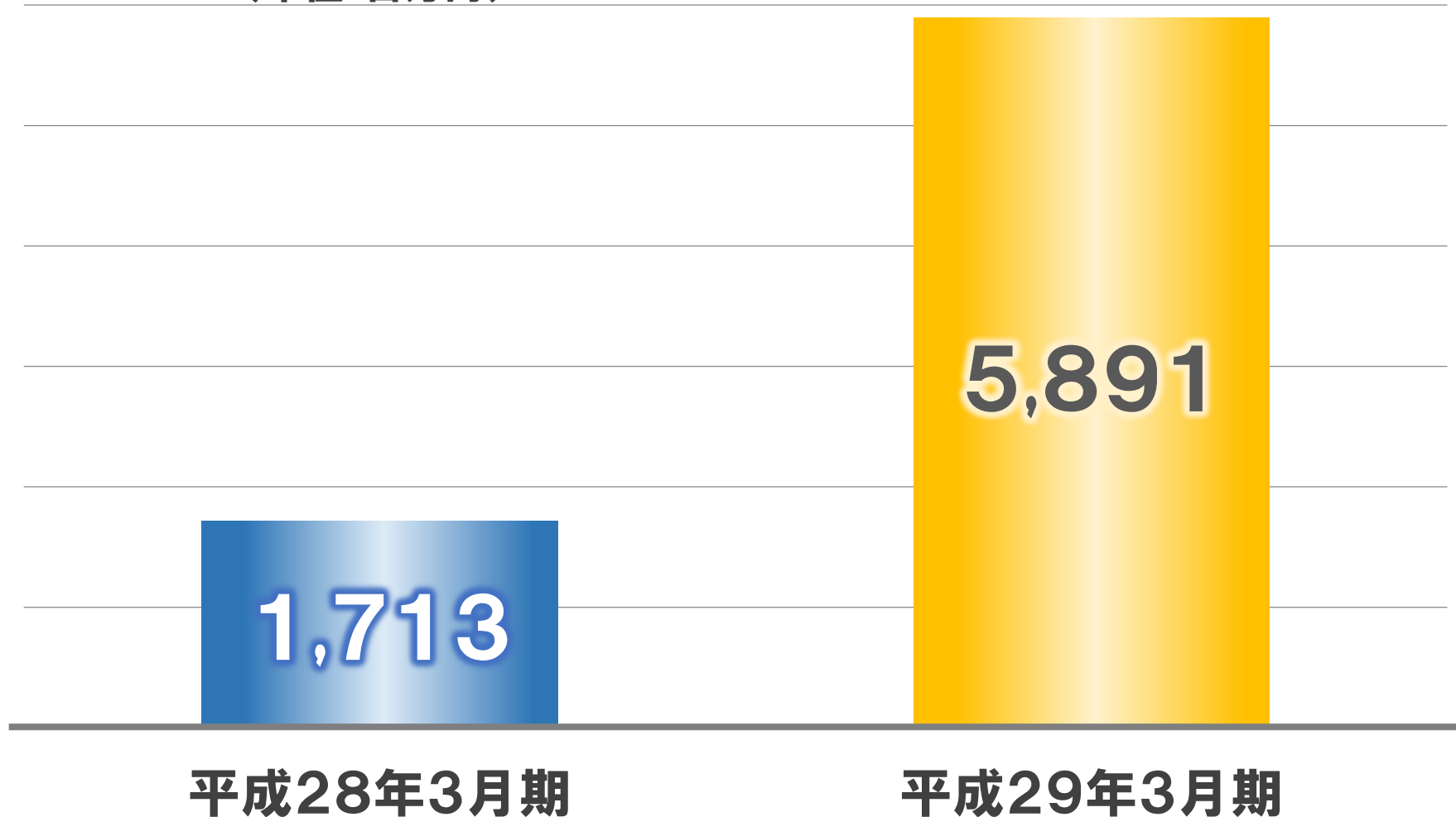
(単位:百万円)



親会社株主に帰属する
当期純利益

5,891 百万円
前期比243.9%増

(単位:百万円)



事業部門別の営業概況

自動車関連生産設備事業

売上高

30,267百万円
前期比88.4%増

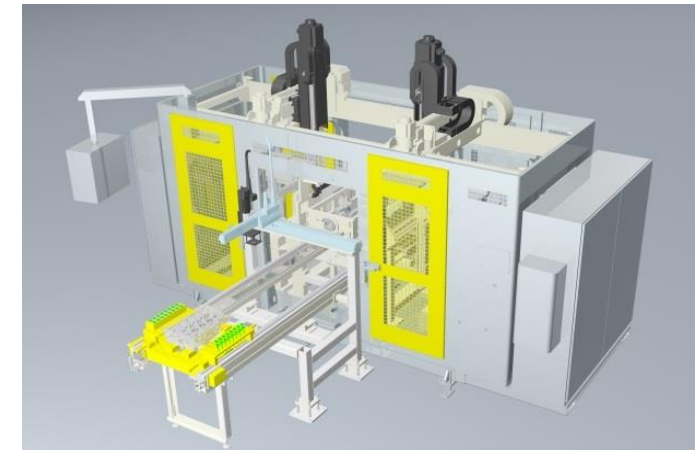
構成比
37.6%



オートマチック
トランスミッションの
クラッチ組立装置



単体商品化された
エコ電動ストッパー

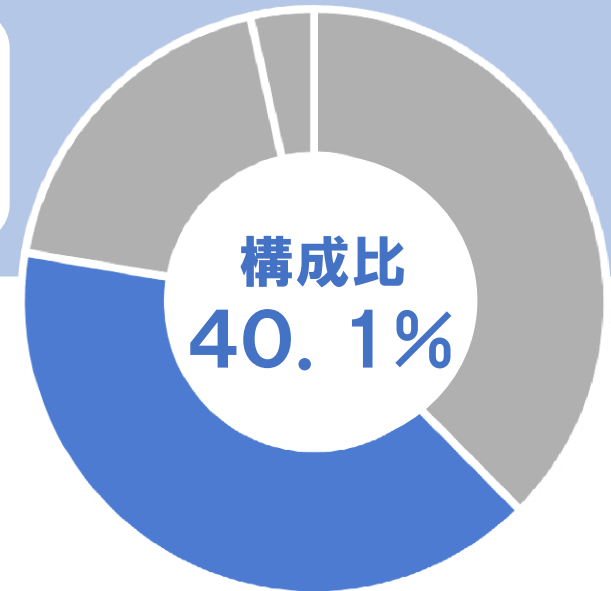


シリンダーヘッドの
バルブ組付装置

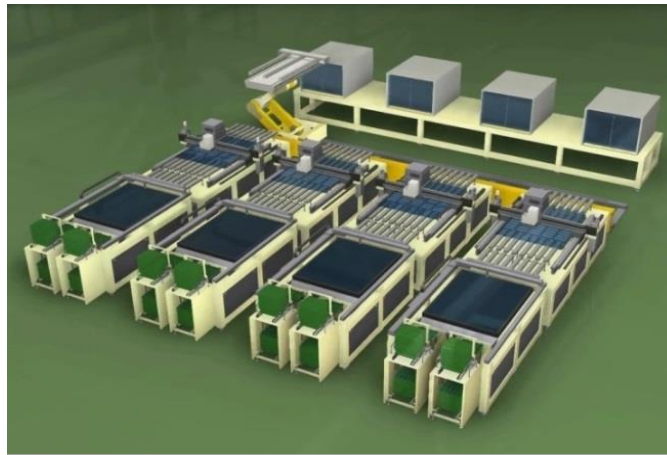
半導体関連生産設備事業

売上高

32,289百万円
前期比101.6%増



有機EL関連装置
真空蒸着装置



強化ガラス切断システム



ウェーハ搬送ロボット

家電関連および その他生産設備事業

売上高

15,165百万円
前期比5.2%減

構成比
18.8%



家電の部品組立装置



タイヤ関連設備



モバイル組立装置

設備投資の状況

総 額

20億9千万円

当連結会計年度中に完成、導入した主要設備

熊本東工場の増設 **5億49百万円**

熊本工場 新工場建設の土地購入 **2億26百万円**

国内工場 統合基幹業務システム **2億12百万円**

当連結会計年度において継続中の主要設備の新設

関東工場 第2技術センターの建設 **1億65百万円**

資金調達の状況

**事業の譲渡、吸収分割
または新設分割の状況**

他の会社の事業の譲受けの状況

につきましては、該当事項はございません。

吸収合併または吸収分割による 他の法人などの事業に関する 権利義務の承継の状況

**につきましては、
平成28年11月1日を効力発生日として、
当社の完全子会社である株式会社KOYAを
吸収合併し、同社事業に関する全ての権利
義務を承継しました。**

**他の会社の株式その他の持分または
新株予約権等の取得または処分の状況**

につきましては、該当事項はございません。

直前3事業年度の財産および 損益の状況

重要な親会社および子会社の状況

**につきましては、
5ページから6ページをご参照ください。**

7ページに記載しております、

対処すべき課題

**につきましては、
後ほど詳細をご説明いたします。**

主要な事業内容

主要な営業所および工場

使用人の状況

主要な借入先の状況

その他企業集団の現況に関する重要な事項

につきましては、
8ページから10ページをご参照ください。

- 株式の状況
- 新株予約権等の状況
- 会社役員の状況
- 会計監査人の状況
- 業務の適正を確保するための体制
- 業務の適正を確保するための体制の運用状況
- 会社の支配に関する基本方針

につきましては、
11ページから19ページをご参照ください。

連結貸借対照表

平成29年3月31日現在

➤ 資産の部

主要科目	金額(千円)	増減率
流動資産	67,466,167	+39.6%
固定資産	20,780,479	+8.9%
資産合計	88,246,646	+32.4%

➤ 負債の部

主要科目

金額(千円)

増減率

流動負債

48,217,528

+36.6%

固定負債

12,457,341

+39.8%

負債合計

60,674,870

+37.2%

▶ 純資産の部

主要科目	金額(千円)	増減率
資本金	2,633,962	—
資本剰余金	2,409,902	—
利益剰余金	18,625,031	+30.7%
その他の 包括利益累計額	4,716,631	+5.8%
純資産合計	27,571,776	+21.7%
負債及び 純資産合計	88,246,646	+32.4%

連結損益計算書

平成28年4月1日～平成29年3月31日

主要科目

金額(千円)

増減率

売上高

80,542,366

+34.1%

営業利益

8,247,285

+64.5%

経常利益

8,039,232

+64.9%

親会社株主に帰属する
当期純利益

5,891,441

+70.9%

連結株主資本等変動計算書

貸借対照表

損益計算書

株主資本等変動計算書

につきましては、
22ページから25ページをご参照ください。

会社の支配に関する基本方針

連結注記表

個別注記表

につきましては、
当社ウェブサイトに掲載して
おりますので、そちらにてご確認ください。

対処すべき課題について

1 グローバル化への取り組み

**2 国内市場の新規開拓・
新規事業への取り組み**

グローバルな生産・販売体制の 確立

北米EVメーカーの大型受注など
生産高、売上高は過去最大

グローバル人材の確保、育成



**海外関係会社への派遣
人事ローテーションと人材の確保**

新規事業の具現化



工学、薬学、医学の領域にて
新事業・技術の開発を推進

機能ユニットの商品化推進

株式会社ミスミと エコ電動ストッパーの販売契約

グローバル
に拡販

